

簡易で耐久性のある路網の整備を支援しています！

間伐等の森林整備を適切に行うためには、路網と高性能林業機械を組み合わせた効率的な作業システムの普及及び定着が重要です。そのためには、コストの低減に留意しつつ、自然条件や導入する作業システムに応じて林道と作業道等の適切な組合せによる路網整備を進めていく必要があります。

林野庁では、これまでも森林整備の骨格となる林道や森林施業とともに開設される作業道等の整備について支援してきましたが、今後、人工林の多くが本格的に利用可能な高齢級の森林に移行していく中において、長期にわたり利用できる壊れにくい作業道等を低コストで整備していくため、次の支援を行っています。



林道



作業道

◎路網整備の考え方

- 林道は、
 - ① 多面的機能を有する森林の適切な整備及び保全を図り、効率的かつ安定的な林業経営を確立するために必要な基礎的アクセスを確保するための恒久的施設です。
 - ② 一般車両の通行にも配慮した規格・構造により、森林の総合利用の推進、山村の生活環境の整備、地域産業の振興等にも重要な役割を担っています。
- 作業道等は、森林施業や管理のための一時的な施設で、主に森林所有者等により森林施業の実施に伴って整備されます。
- 林道と作業道等がそれぞれの役割等に応じて適切に組み合わせられた路網ネットワークの整備を進めていくことが重要です。

作業路網の計画的で低コストな整備

従来からの補助に加えて、森林作業計画や特定間伐等促進計画に基づく作業に必要な作業道や作業路については、作業の実施に先行して整備するものについても補助の対象としています。これにより、効率的な路線の配置等による低コスト化が期待できます。

低コスト作業システムの展開のための林内路網機能強化

高性能林業機械が造材（伐採された木の枝を払い丸太にすること）などの作業に利用する作業用地（作業ポイント）や、傾斜が急な箇所で林道と作業道等を比較的急勾配で結ぶ舗装路（接続路）の整備についても補助の対象としています。

定額助成による作業道等の整備

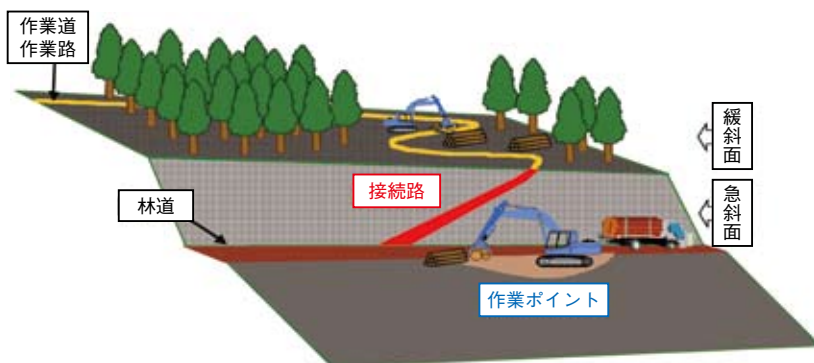
建設事業者の技術や設備の活用を図りながら行う簡易で耐久性の高い作業道・作業路の整備について、定額（一万四千元/m等）で助

成しています。

「作業路作設の手引き」等の配布

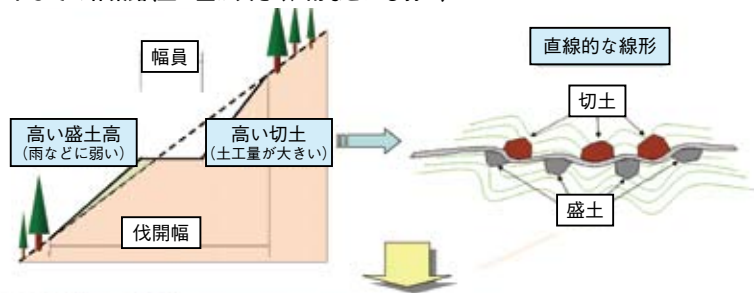
先駆的な林業事業者等で施工されている作業道開設の基本的な工法・手法等を踏まえ、土質や気候

■「作業ポイント」と「接続路」

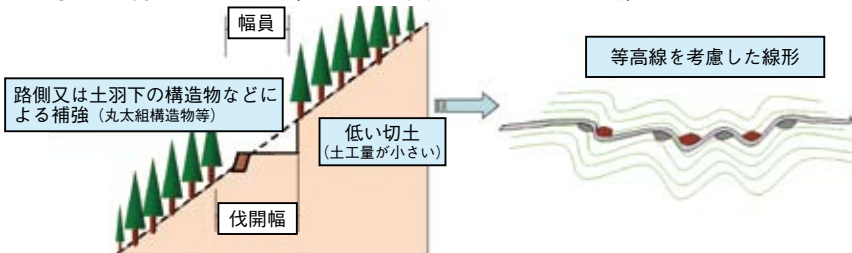


■「作業路作設の手引き」でのポイント掲載例

- これまでの作業路（土工量が大きく、雨などにも弱い）



- 切土高を抑えた作業路（土工量が少なく、安定している作業路）



作業路を開設する際に土を切り取る量が多いと、将来的に崩れるおそれが高くなります。等高線に沿った路線にすることなどにより、土を切り取る量を抑えることができ、作業路が壊れにくくなります。

といった地域条件に応じた工夫を加えながら作業路の作設に役立てていただくために、「作業路作設の手引き」（平成一九年三月）、「作業路損壊事例」（平成二〇年五月）を作成・配布しています。

これらの事業内容の詳細や資料をご希望の場合は、林野庁整備課（〇三・六七四・二三〇三（直））へお問い合わせください。